

# 明るい心を取り戻していただくために

— 避難所生活を送る方々への支援を継続 —

ドトール・日レスホールディングス約1,900店で実施した東日本大震災の義援金募金は、多くの方々の温かいご支援を受け、総額1億145万2,839円を日本赤十字社に寄付することができました。ご協力ありがとうございました。

店頭での募金活動はいったん終了したものの、弊社では引き続き被災者の方々のお役に立ちたいとの思いから支援物資等を送ってまいりました。今年は直接避難所を訪問し、淹れたてのコーヒーの香りでリラックスしていただいたり、色とりどりの花々が束の間でも癒しになればとフラワーアレンジメント教室を開催しました。

弊社グループでは今後とも引き続き可能な限りの支援活動を行っていく所存です。

## 福島県双葉町避難所の状況 (埼玉県加須市旧騎西高校)

福島第一原発から3km圏内にあった双葉町は、埼玉県加須市の旧騎西高等学校の校舎に役場ごと避難しています。震災から一年半以上が経った今も、不自由な生活を余儀なくされており、その多くが高齢の方々です。私たちが訪問した今年7月時点では、約220名が暮らしていらっしゃいました。



# DNREPORT Vol.10

株式会社ドトール・日レスホールディングス  
2013年2月期 第2四半期報告書



### D&Nコンフェクショナリーの ケーキを配布



近隣にケーキショップ等がないそうで、甘い物の差し入れは大好評でした。

会場まで取りに来られない方のために  
ドリンクのデリバリーも行いました。



### コーヒーの炊き出し

### フラワーアレンジメント 教室の開催



お花のパワーで会場には  
たくさんの笑顔が咲きました。

株式会社ドトール・日レスホールディングス  
URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿樂町10番11号  
TEL 03-5459-9178 (代表)

**DOUTOR**

株式会社ドトールコーヒー  
[www.doutor.co.jp](http://www.doutor.co.jp)

**NRS**

日本レストランシステム株式会社  
[www.n-rs.co.jp](http://www.n-rs.co.jp)

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

**FSC**  
ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915

適切に管理された森林資源を  
用紙の材料にしています。

**VEGETABLE  
OIL INK**

VOC(揮発性有機化合物)  
の発生が少ない、ベジタブル  
インクを使用しています。

## CONTENTS

特集：アジア市場への展開	1
国内各業態の取り組み	5
連結決算ハイライト	9
マネジメントメッセージ	10
事業別の概況	13
連結財務諸表	14
会社概要	15
株式情報	17

# グローバルトピックス 2012.3~2012.8

当社グループの海外事業は、レストラン業態・カフェ業態ともにシンガポール・上海・台湾での展開を加速しています。2012年8月末現在の海外店舗数は、22店舗となっております。

## シンガポール

2012年4月 洋麺屋五右衛門6号店出店  
2012年8月 ドトールコーヒーショップ初出店

※ 現在、グループ全体で16店舗を運営中。  
11月には星乃珈琲店も初出店予定。  
また、五右衛門の新規出店も複数計画。



## 台湾

2012年12月 洋麺屋五右衛門初出店を計画  
(ドトールコーヒーショップと併設出店)

※ ドトールコーヒーショップ2店舗を運営中。  
また、DCS4号店も12月に新規出店予定。



## 上海(中国)

洋麺屋五右衛門、洋食寅八軒  
計4店舗を運営。新規出店検討中。

## 韓国

2012年10月 洋麺屋五右衛門初出店  
※ 韓国の市場調査を兼ねた新規出店。

## フィリピン

2012年10月 洋麺屋五右衛門初出店  
(フランチャイズでの進出)

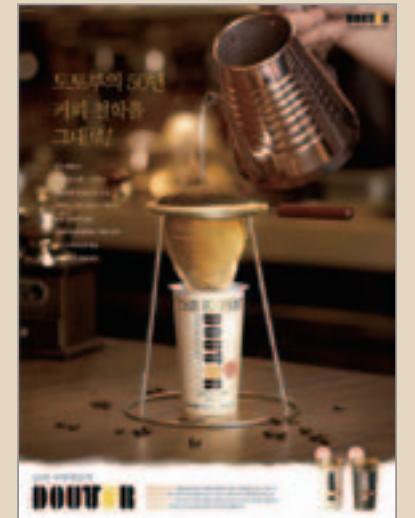
※ 多店舗化を目指す方向で検討中。



## 香港

今期中(予定) 洋麺屋五右衛門初出店を計画  
※ 香港の市場調査を兼ねた新規出店。

## 卸売事業



コーヒー飲料事業の海外展開  
チルドPET飲料などを中心に、  
韓国および台湾にて展開中。

アジア全域をターゲットに、  
海外事業を展開しております。

## ドトールコーヒーが東南アジアに進出！ シンガポール1号店をクローズアップ

**DOUTOR**

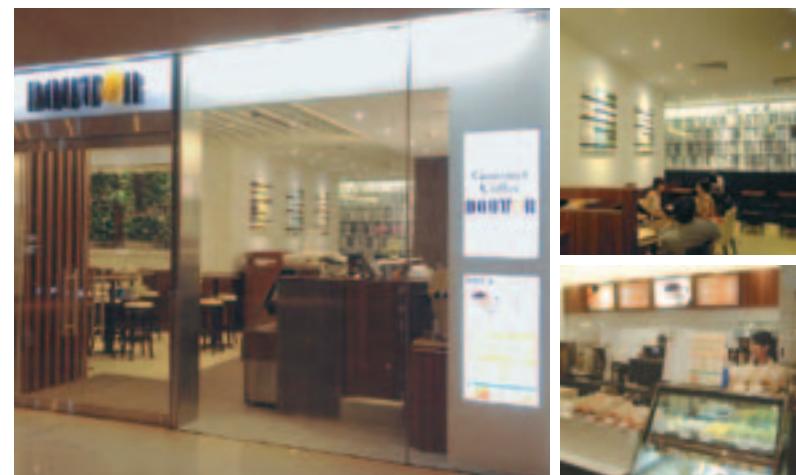
8月18日、ドトールコーヒーショップのシンガポール1号店がオープンしました。当社グループは東南アジアを今後の成長市場と位置付け、シンガポールを進出の足掛かりとしていきます。

### 新鮮さと質にこだわったコーヒーと 手作りのフードを武器に市場を開拓

今年8月、シンガポールのマリーナベイ地区にあるフィナンシャルセンター・タワー3に「ドトールコーヒーショップ Marina Bay Financial Centre店」がオープン。経済成長めざましく近隣ASEAN諸国の玄関口としても注目のシンガポールに出店したことで東南アジア進出への足掛かりとしていきます。なお、ドトールコーヒーショップの海外進出は台湾に続き2カ国目となります。

[DOUTOR COFFEE SHOP]  
Marina Bay Financial Centre  
12 Marina Boulevard Singapore  
018982 Tower3 #01-05  
TEL:+65-6604-6082

**DOUTOR**



### 出店ビルは新たな世界金融ハブとして 注目されるマリーナベイ金融センター

周辺昼間人口が18,000人あるマリーナベイ金融センター（MBFC）タワー3の1Fに立地。オフィス立地ということもあり、平日は近隣のビジネスパーソン、休日は周辺にお住まいのご家族やグループでの来店が多く見られます。店舗デザインは白とダークブラウンを基調にフェイクグリーンの壁面や本棚を模したカーテン等、日本国内で推進中のリニューアルデザインを踏襲しております。

### 日本国内と同様のメニューを提供。 香りと味、サービスのレベルで差別化

ブランドメニューは日本国内と同様のものを提供。更に日本にはないサラダ、ヨーグルト、スープも用意し、コーヒーとサンドイッチ以外にも、豊富なバリエーションをアピール。価格は現地の食材価格や価値観に合わせ変化させるなど、現地のニーズにも対応しております。「DOUTOR」ブランドの認知度向上を目指すとともに、現地のお客様に愛される店作りをしていきます。

### 1日当たり400人程度の集客で 年間売上目標96万ドル（6,000万円）

シンガポールでの成功は、周辺国への広告塔としての影響力も大きいため1号店のクオリティーが大変重要。現在、日本のドトールコーヒーショップを基準に、3つの魅力（商品・店舗・人）を再現しようと取り組んでいます。日本企業のサービスに対するお客様の期待値が高い分、ご期待を裏切ることのないよう日々お客様満足度の向上に努めています。



### MBFCではシティリンクモール内で 洋麺屋五右衛門も営業中！

同エリア内にあるシティリンクモールには、昨年オープンした洋麺屋五右衛門が営業中。パスタはもちろん、ピザも展開。日本同様、五右衛門オリジナルのこだわりメニューを開放感のある客席でゆったりとお召し上がりいただけます。現在、シンガポールでは洋麺屋五右衛門6店舗を運営しております。

# 新メニューカレンダー 2012.3~2012.8

限定メニューは随時実施しています。  
詳しくは当社ウェブサイト [www.dnh.co.jp](http://www.dnh.co.jp) から各社のホームページへ



「ローストチキン&ラタトゥイユ」  
「宇治抹茶ラテ」  
「宇治抹茶豆乳ラテ」  
(3月22日)



**DOUOR**  
「エビとツナサラダ ~ぷりぷりエビとシャキシャキ野菜~」  
「黒糖ほうじ茶ラテ~与那国島産黒糖~」  
(4月19日)



夏のおすすめ  
「長井入ル」  
(6月7日)



夏のおすすめ  
「さんるむ」  
(6月21日)




**新ブランドメニューを導入(6月1日)**  
五右衛門のおすすめメニューや季節ごとの期間限定スパゲッティーをはじめ、日本伝統調味料の風味をデリケートに活かし、出汁の旨味を大切にした和風スパゲッティー、最高級オリーブオイル、チーズの王様パルミジャーノレッジャーノなどの食材がイタリア直輸入の本格洋風スパゲッティーなど、五右衛門の究極のこだわりを是非ご賞味ください。

夏乃珈琲店  
夏季限定パンケーキ(6月)



「パリサンドタルタルシュリンプ」(6月14日)




「プレミアムフローズンマンゴーパッション&ヨーグルト ~ジャスミン~」(7月12日)




「ハニーレモンスパークリング」(8月9日)




**DOUOR**  
「ミラノサンド ホワイトCHEDDARとジャンボンハム ~シーザーサラダ仕立て~」  
(3月15日)

春の期間限定おすすめメニュー  
(3月)



**DOUOR**  
「ミラノサンドB 海老とサーモンのバジルソース」  
(5月10日)



**DOUOR**  
「コンソメジュレとチキンハムサラダ ~6種の彩り野菜~」(6月7日)  
「ハニーバニラ・ラテ」  
「ピーチミックスジュース」(6月7日)  
「ミラノサンド チキンと生ハムのアボカドソース ~ゆず胡椒風味~」(6月21日)



**DOUOR**  
「ヨーグルン グアバ&ザクロ、マンゴー&パッション、キウイ&ライムミント」(7月5日)  
「トマトと豆のサルサドック」  
「ほうじ茶プリン」  
(7月5日)



**DOUOR**  
「ゆずティハニー」(8月2日)  
「かぼちゃサラダ ~ポロニーニャソーセージ~」(8月23日)




毎月実施のパンフェア

- 3月 フランスパンフェア
- 4月 創業祭フェア
- 5月 イタリアンフェア
- 6月 冷やしパンフェア
- 7月 世界のパンフェア
- 8月 インドフェア

## 「オーバカナル」プロデュースのフレンチブラスリーが 横浜ランドマークプラザにオープン

■ BRASSERIE LA CLASSE (ブラスリー ラ クラス) ■



赤を基調としたクラシカルな店に入ると、店内はハイテーブルや鏡、ランプの形などまるでフランスの街中のような空間。天気の良い日はテラス席でもお食事していただけます。

**本物を伝えるエスプリを継承。クラシックとモダンが融合したフレンチスタイルが特長です。**

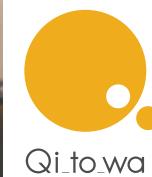
今年6月、みなとみらい横浜ランドマークプラザ1Fにオーバカナルプロデュースの「ブラスリー ラ クラス」の2号店をオープン。老若男女様々な人が行き交う感度の高い街、横浜・みなとみらいに溶け込む店舗は、「現代のフランス」をテーマに赤を基調とした内装や、タイル張りの床、ハイテーブルなどフランスの街角に紛れ込んだような空間。テラス席も用意し、天気の良い日は海からの風を感じながら、お食事やティータイムをお楽しみいただけます。

クロックムッシュやオムレツ、ニースサラダ、田舎風テリーヌやオニオングラタンスープなどフランスの家庭に招かれたような、本場の味わいをご提供。ランチ、ディナーの食事からティータイムまで、ファミリーからビジネス利用、お友達とおしゃべりなど様々なシーンに合わせてご利用いただけます。また1号店の新横浜店は、併設のブランジェリーで焼きあげるパンのファンも多く、ホテルや駅利用者だけでなく、地域の方々にもご利用いただいております。

所在地 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1  
横浜ランドマークプラザ1F  
店舗面積 60坪  
客席数 店内78席(禁煙)/テラス席44席  
営業時間 11:00~22:00(ランチ/11:00~14:00)

## D&Nコンフェクショナリーの新感覚スイーツショップ 「ここでしか買えない」絶品ラング・ド・シャを販売

■ Qi\_to\_wa (きとわ) ■



**心にたくさんの「き」と「わ」を咲かせる美味しさを  
ぞくぞく発信していきます。**

今年8月、D&Nコンフェクショナリーが「Qi\_to\_wa」をオープン。東京の玄関口とも言われる東京駅の大丸東京地下1Fに店舗を構えました。

きとわは、「喜」と「和」=喜びと和み。  
「輝」と「輪」=心と心を結び、輝かせる。  
「気」と「話」=心を通わせ、話しを弾ませる。

毎日に、そんなすてきなひと時を届けたいという想いをこめて生まれたスイーツブランドです。茶匠選りすぐりの茶葉から生まれたお濃茶のラング・ド・シャ「花のごとく」。京都宇治の抹茶を贅沢に練りこみ、風味、香りにこだわった抹茶クッキーに、エアロタイプのホワイトチョコを挟んだ新しい食感の逸品となっております。

旅行者やビジネスマンの来店が多く、お土産の商品の需要が非常に高い同店で、ここでしか買えないオリジナル商品をというコンセプトで限定販売。「東京ぼーの」に続く新たなヒット商品として、お客様にご好評いただいております。

D&Nコンフェクショナリーでは、グループへの販売だけでなく、お客様一人ひとりに直接販売ができる常設店舗を増やすことで、売上の拡大に努めていきます。

所在地 東京都千代田区丸の内1-9-1 大丸東京店B1F  
営業時間 10:00~20:00

第2四半期のポイント

- 既存店が順調に推移したことで、前年同期比増収増益を確保。
- 魅力ある商品作りと継続的な新メニューの導入や新業態開発を積極的に推進。
- シンガポールにドトールコーヒーショップを初出店。ASEAN市場へカフェ事業展開開始。
- 安定した財務基盤。1株あたり13円の間配当を継続。

連結売上高

54,908  
百万円  
(前年同期比)  
0.5%増



連結営業利益

3,934  
百万円  
(前年同期比)  
3.6%増



連結経常利益

4,125  
百万円  
(前年同期比)  
3.1%増



連結四半期純利益

2,626  
百万円  
(前年同期比)  
113.7%増



代表取締役会長 山内 実 代表取締役社長 星野 正則

既存事業の安定拡大と成長テーマの推進による飛躍をめざしてまいります。

ご挨拶

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要やエコカー減税などの政策により4～6月の実質GDPが前期比0.6%のプラスになるなど、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、欧州債務危機の長期化や円高の継続、また電力不足問題などもあり、先行きは不透明な状況となりました。

外食業界におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりに加え、米国での干ばつによる穀物価格の高騰や国内米価が高値圏で推移したこと、また、業種を超えた競争などにより、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で30店舗(直営店舗17店舗、海外2店舗、加盟店舗11店舗)を新規に出店するとともに、顧客の嗜好に合わせて、「星乃珈琲店」のチェーン化を一層推し進め

るなど、24店舗の業態変更を行いました。さらに、ブランド価値の向上策として、ドトールコーヒーショップにおいてデザイン性の高い店舗の新規出店や改装などを積極的に展開したほか、正統派インド料理専門店の「タージマホール」、パンケーキ専門店の「ミーズパンケーキ」など新規業態の立ち上げ、また、洋麺屋五右衛門の新メニュー導入など既存事業の強化を行いました。

海外展開においては、シンガポールに「洋麺屋五右衛門」を、またマリーナベイフィナンシャルセンターに「ドトールコーヒーショップ」を初出店し、ASEAN市場へのカフェ事業の店舗展開を開始するなど、海外展開の基盤作りに努めました。その結果、当第2四半期連結会計期間末時点の海外店舗数は、シンガポール16店舗、中国4店舗、台湾2店舗の計22店舗となりました。

当社グループでは、国内既存事業の安定成長とグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大による成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値増大を目指してまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 既存店の業績動向について  
● お聞かせください

第2四半期累計の既存店は、前年対比でドトールコーヒーが売上+1.3%、客数+1.0%、日本レストランシステムが売上△1.5%、客数△2.1%の結果となりました。

カフェ部門では、季節ごとに積極的な新商品の販売をすることで、新規のお客様の獲得および既存のお客様への再訴求に努めました。また、本年度より更に注力している朝だけセット～モーニングセット～、昼のミラノサンド、ティータイムのケーキセットなど、時間帯別のセットメニューが新商品施策とともに、お客様のご支持を頂き、客単価および売上のアップに寄与することにより、売上・客数ともに前年を上回る結果を出すことができました。

レストラン部門では、6月に「洋麺屋五右衛門」にお

いて、お客様の嗜好に合わせ新ブランドメニューを導入し、五右衛門自慢のオリジナルメニューの美味しさに磨きをかけ、更にパワーアップいたしました。また、自然食の「さんるーむ」など各業態において、期間限定メニューを導入することで既存店の強化に取り組みました。しかしながら、昨年のTV放映などの反動もあり、既存店売上は前年対比で下回る結果となりました。

グループ全体としては、レストラン部門の積極的な新業態開発や業態変更などが功を奏し、新店を含む全店ベースで売上・客数が堅調に推移したことにより、売上・利益ともに前年を上回り、増収増益を確保しております。今後も、積極的な新商品の投入によるお客様への訴求に努めるとともに、改装をはじめとしたブランド価値の向上に注力することで既存事業の強化に努めていきます。

● 海外展開の今後について  
● お聞かせください

当第2四半期末現在で、シンガポール16店舗、上海4店舗、台湾2店舗の合計22店舗を海外で展開しております。

シンガポールにおいては、8月に「ドトールコーヒーショップ」を初めて出店いたしました。現段階では、お客様の反応を見ながら、微調整を繰り返している状態ではあるものの、徐々に現地のお客様からのご好評も頂けるようになっており、今後シンガポールにおいて複数店舗の出店を検討していく予定です。また、11月

には「星乃珈琲店」も初出店することが決定しております。今後もシンガポールでは、「洋麺屋五右衛門」をはじめ、一つの業態を多店舗化していくだけでなく、当社の持つさまざまな業態の出店を検討していく予定です。

また、台湾においては、12月に「洋麺屋五右衛門」と「ドトールコーヒーショップ」の併設店を出店することが決まりました。今回の併設店では、バックオフィスを共同で使用するなど、併設店ならではの取組みも行っていきます。なお、五右衛門については台湾での初出店となり、今後お客様の反応を見ながら、多店舗化を図っていくことを考えております。また、「ドトールコーヒーショップ」についても同月4号店を出店することが決まっており、台湾における当社の多店舗化を更に推進していきます。

その他、韓国については、10月下旬に「洋麺屋五右衛門」1号店を出店しました。また香港においても、市場調査を兼ねた形で「洋麺屋五右衛門」の出店を計画しております。現在、最終的な詰めを行っておりますので、時期は若干ずれる可能性がございますが、今期中にオープンする予定となっております。また、フィリピンについては、10月下旬にフランチャイズ形式で「洋麺屋五右衛門」を出店しました。フィリピンにおいても、まずは1号店をオープンし、現地のお客様の反応を見ながら、多店舗化の検討をしていく予定となっております。

シンガポール以外はまだお客様の反応を見ながらの状況ではありますが、今後も着々とASEANを中心に各国での多店舗化、また複数業態の出店を重ねていく予定です。

● 通期見通しについてお聞かせください

外食業界は、消費者の生活防衛意識の高まりに加え、米国での干ばつによる穀物価格の高騰や国内米価が高値圏で推移したこと、また、業種を超えた競争などにより、厳しい経営環境が続いておりますが、お蔭様で当第2四半期までの業績は増収増益を確保し、ほぼ計画通りの結果を残すことができました。

通期の連結業績予想は、売上高110,602百万円(2.7%増)、営業利益7,712百万円(8.7%増)、経常利益8,171百万円(9.3%増)、当期純利益4,080百万円(62.4%増)となっており、変更はございません。下期においても、新商品の開発・導入やブランド価値向上に向けた取組みに注力することで、既存店の強化に努めるとともに、業態変更や新業態開発を積極的に行うことで、計画を上回るよう、取り組んでまいります。



代表取締役会長  
山内 実



代表取締役社長  
星野 正則

レストラン事業

レストラン事業では、「洋麺屋五右衛門」の新ブランドメニュー導入など既存店の強化を行うとともに、アジア各地のグルメを集めたアジア料理専門店の「アジアマルシェ」、正統派インド料理専門店の「タージマハール」、パンケーキ専門店の「ミーズパンケーキ」の新業態を開発しました。また、東京スカイツリーに併設の商業施設であるソラマチに「洋麺屋五右衛門」を出店したほか、牛たん専門店の「仙台辺見」の多店舗化に努めました。

海外展開については、シンガポールに「洋麺屋五右衛門」1店舗を出店しました。

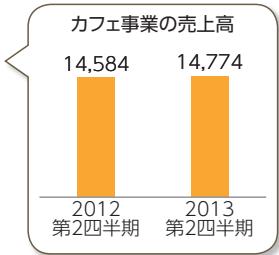
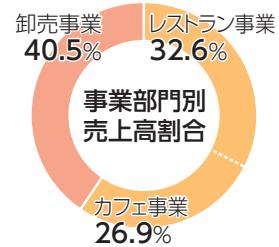
カフェ事業

カフェ事業では、季節に合わせた魅力ある商品作りを継続するとともに、本年度より更に注力している「朝だけセット(モーニング)」、「昼のミラノサンド」、「ティータイムのケーキセット」といった時間帯別のセットメニューや新商品施策がお客様のご支持を頂くなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努めた結果、既存店は前年比プラスで堅調に推移いたしました。また、デザイン性の高い店舗の新規出店や改装などを積極的に展開するなど、ブランド力の強化に努めました。

海外展開については、シンガポールに「ドトールコーヒーショップ」を初出店し、ASEAN市場へのカフェ事業の展開を開始いたしました。

卸売事業

一般卸売事業では、洋菓子部門において、大丸東京店に新しいコンセプトのスイーツショップ「Qi\_to\_wa(きとわ)」をオープンし、新商品「お濃茶ラング・ド・シャ “花のごとく”」の販売を開始するなど、消費者向け商品の開発や販路の拡大に努め、着実に売上を伸ばすことができました。一方、コーヒー部門においては、ドリップコーヒーやコーヒー原料の販路拡大、スーパーなど量販店向け商品の開発や販売の拡大、チルド飲料など定番商品と新商品の継続的な投入に注力し、業容の拡大に努めましたが、昨年の需要増の反動から売上高は減少する結果となりました。



● 連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2012年8月31日現在	前連結会計年度末 2012年2月29日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	37,742	32,378
固定資産	68,663	70,466
有形固定資産	34,663	35,021
無形固定資産	1,488	1,643
投資その他の資産	32,511	33,801
資産合計	106,406	102,845
<b>負債の部</b>		
流動負債	16,962	15,281
固定負債	5,663	5,624
負債合計	22,626	20,905
<b>純資産の部</b>		
株主資本	84,565	82,544
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	60,492	58,471
自己株式	△ 2,784	△ 2,784
その他の包括利益累計額	△ 868	△ 681
その他有価証券評価差額金	△ 743	△ 550
繰延ヘッジ損益	△ 127	△ 126
為替換算調整勘定	2	△ 4
少数株主持分	83	76
純資産合計	83,780	81,939
負債及び純資産合計	106,406	102,845

● 連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 2012年3月1日から 2012年8月31日まで	前第2四半期 連結会計期間 2011年3月1日から 2011年8月31日まで
売上高	54,908	54,656
売上原価	22,429	22,785
売上総利益	32,479	31,870
販売費及び一般管理費	28,545	28,071
営業利益	3,934	3,798
営業外収益	287	270
営業外費用	96	67
経常利益	4,125	4,001
特別利益	714	62
特別損失	477	1,144
税金等調整前四半期純利益	4,361	2,919
法人税、住民税及び事業税	1,748	1,690
少数株主損益調整前四半期純利益	2,613	1,229
少数株主利益又は損失(△)	△ 12	0
四半期純利益	2,626	1,229

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 2012年3月1日から 2012年8月31日まで	前第2四半期 連結会計期間 2011年3月1日から 2011年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,459	3,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,087	△ 1,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 309	△ 417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54	△ 11
現金及び現金同等物の増加額	2,007	1,798
現金及び現金同等物の期首残高	20,898	19,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,905	20,810

**株式会社ドトール・日レスホールディングス**

設立 2007年10月1日  
 資本金 10億円  
 従業員数 2,366名(連結)  
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号  
 03-5459-9178(代表)  
 事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号  
 03-5459-9178(代表)  
 U R L <http://www.dnh.co.jp>

●取締役

代表取締役会長 山内 実  
 代表取締役社長 星野 正則  
 常務取締役 木高 毅史  
 取締役 大林 豁史  
 取締役 鳥羽 豊  
 取締役 稲森 六郎  
 取締役 青木 幸隆  
 取締役 津田 庄三  
 (社外)取締役 財前 宏  
 (社外)取締役 五味 淳吾

●監査役

常勤監査役 郷井 義郎  
 常勤監査役 宮林 哲夫  
 監査役 梶川 浩  
 監査役 吉島 重鐵

**株式会社ドトールコーヒー**

設立 1962年4月  
 資本金 111億41百万円  
 本社 東京都渋谷区神南一丁目10番1号  
 03-5459-9008  
 U R L <http://www.doutor.co.jp>

**日本レストランシステム株式会社**

設立 1973年6月  
 資本金 35億5百万円  
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号  
 03-6743-7010  
 U R L <http://www.n-rs.co.jp>

**D&Nコンフェクショナリー株式会社**

設立 2008年8月 資本金 4億80百万円

**D&Nカフェレストラン株式会社**

設立 2008年12月 資本金 2億円

**株式会社サンメリー**

設立 1969年7月 資本金 50百万円

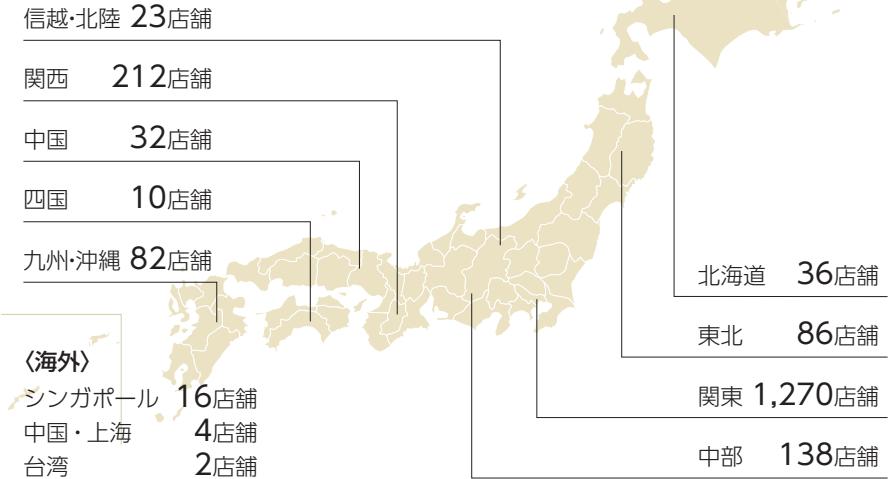
**D&Nインターナショナル株式会社**

設立 2011年8月 資本金 50百万円

グループ事業の概況

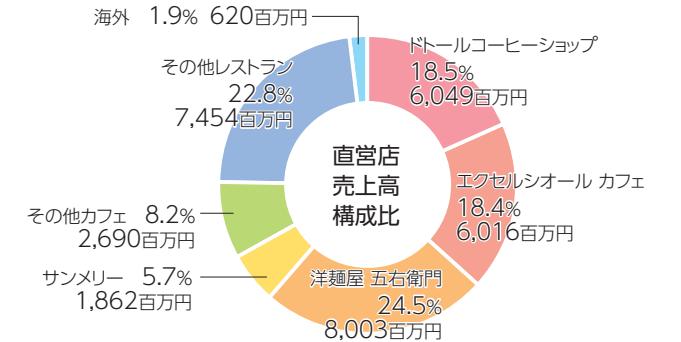


● 地域別店舗数



● 業態別店舗数 (2012年8月末)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,115	966
エクセルシオール カフェ	157	37
カフェ コロラド	77	75
洋麺屋 五右衛門	209	—
サンメリー	43	—
海外	22	—
その他	288	5
合計	1,911	1,083



※直営店の売上高は総売上高の59.6%を占めます。

本誌掲載情報の詳細については  
 当社WEBサイトを  
 ご参照ください。

<http://www.dnh.co.jp>



ドトール日レス

● 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株主数	37,902名

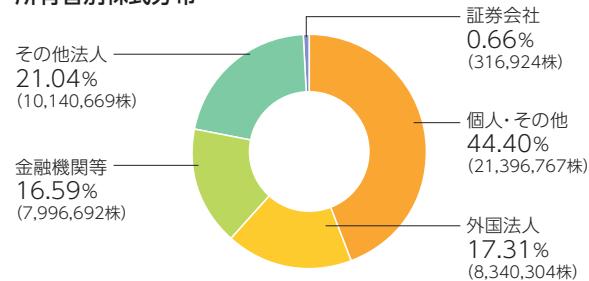
● 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 豁史	6,748	14.00
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.74
鳥羽 博道	2,430	5.04
株式会社バードフェザーリンク	2,300	4.77
日本トラステイ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,777	3.69
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,384	2.87
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.74
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウト	1,302	2.70
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフ シー) サブ アカウト アメリカン クライアント	1,248	2.59
山内 実	924	1.92

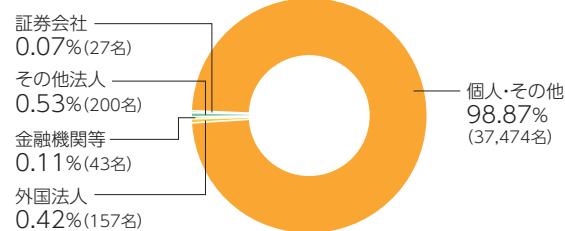
※持株比率は自己株式(2,418千株/4.78%)を控除しております。

● 株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催します。
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html

● 株主優待のご案内

対象株主と贈呈時期

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年6月の贈呈を予定しております。

優待制度の内容

- 100株以上500株未満  
2,500円相当の商品
- 500株以上  
4,500円相当の商品

● 株式に関するお知らせ

● 単元未満株式の買取・買増について

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増を請求することができます。  
当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」と、不足分を買い増していただき単元株式(100株)にまとめる単元未満株式の「買増制度」をご利用いただけます。

● 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。  
確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

● 株式に関する手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	証券会社に開設した証券会社にお問い合わせください。	みずほ信託銀行 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL: 0120-288-324
●単元未満株式の買取請求		
●単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項		
●未払い配当金		
	上記みずほ信託銀行のほか、みずほ銀行・みずほインベスターズ証券でもお取扱いたします。	

お問い合わせ先(株主名簿管理人) 取次所 **みずほ信託銀行株式会社 証券代行部** フリーダイヤル **0120-288-324**  
みずほ信託銀行株式会社 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

